※令和３年度以前入学生用

学校番号	3038

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「倫理」（東京書籍）						
副教材等	「最新図説　倫理」（浜島書店） 「要点マスター　倫理　演習ノート」（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

　これまで国内外の様々な偉人たちが経験してきた、ひとびとの生き方や理想とする社会についての意見や、あるいは人生の選択に迫られた際の参考となる思想や生き様に触れることによって、今後の自分の生き方や社会のあるべき姿を考える際の参考となるものを学んでもらいたい。

２　学習の到達目標

①現在の自分(青年期)や現代社会の諸問題を、学問的・科学的・客観的に考えていく素養を身につけていく。
②過去の偉人たちの思想や行動が、どのような必要性の中で生まれ、その時代・世界の課題とそれを克服しようとした人々・社会の思想・活動にどのような影響をおよぼし、また次の時代にどのような影響を残したのかを理解する。
③そして、①②を踏まえて、今後の自分の生き方の指針や、我が国や国際社会が直面している現代の諸課題についての認識と自分がその中で果たすべき役割を考えるための資質を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	古今東西の様々な課題とそれに挑んだ人々の活動について関心を持ち、その果たした役割や意義について意欲的に考え、現代の諸課題や自分との関わりについて考察する態度を養う。	それぞれの思想や活動が、その時代と社会の制約の中で果たした役割を考え、現代にどういかされているか、どういかせるかを判断し、自分なりの表現で説明できるように工夫する。	自分が興味をもった思想家・活動について、教科書・資料集だけでなく、その著書や解説本などで研究し、自作のプリント資料やパワーポイントで発表し、その理解の幅を深めていく。	様々な地域・時代の課題や偉人たちの思想や活動を、それぞれの時代背景とともに理解し、その果たした役割と限界、その後に与えた影響などを基本に押さえていく。
評価方法	レポート 研究発表 ノート	定期考査 研究発表 ノート	研究発表 発表ツール(作成資料, パワーポイント)	定期考査 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	青年期	1　青年期の意義 2　青年期の課題と生き方	○ 	 ○	○ ○	○ ○	a:青年期の特徴を意欲的に探究しているか b:それを適切に表現できるか c:諸資料を自分の体験など踏まえ分析できるか d:青年心理学や発達心理学などについて理解できているか	テスト 発表 レポート ノート
	源流思想	1　人間とは何か 2　ギリシャの思想 3　キリスト教 4　イスラーム 5　仏教 6　中国の思想 7　芸術と人間	○ 	 ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a:人間について歴史的・多面的に考えていく意欲があるか b:様々な源流思想をそれぞれの歴史的条件の中で捉えられているか c:諸思想の『原典』ではどのように示されているかを考える d:諸思想の特徴や果たした役割、現代への影響を掴んでいるか	テスト 発表 レポート ノート
2学期	日本思想	1　日本人の精神風土 2　仏教と日本人の思想形成 3．儒教と日本人の思想形成 4．国学の思想 5．庶民の思想 6．西洋思想と日本人の近代化 7．国際社会に生きる日本人の自覚	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:仏教・キリスト教そして古代以来の日本人の信仰と現代・自分とのつながりや、江戸儒学以来の学問・諸思想と近現代の日本思想・学問のつながりに関心を持って取り組む意欲があるか b:宗教家や思想家の生き様やその思想・意義などおさえて説明できているか c:『原典』資料に基づいた考察ができているか d:諸思想の特徴や果たした役割、現代への影響を掴んでいるか	テスト 発表 レポート ノート

※令和３年度以前入学生用

2学期	西洋思想	１　人間の尊厳の根拠を求めて（ルネサンス、宗教改革、近代科学、経験論と合理論） ２　民主社会と自由を求めて（社会契約説、観念論） ３　社会変革の倫理を求めて実存主義（功利主義、社会主義、実証主義、プラグマティズム） ４　新たな人間像を求めて（実存主義、現代哲学） ５．自然や科学技術と人間とのかかわり（自然観の見直し） ６．民主社会の成熟のために（平等、社会参加、公共性）	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:ルネサンス・宗教改革に始まる西洋近代哲学の合理的思考が果たした役割について、各思想がどんな視点をもたらしたかに関心をもち考察できるか b:各思想家の生き様やその思想・近代哲学における位置づけなどを説明できるか c:『原典』資料や様々な解説・たとえ話を理解した上での考察ができているか d:諸思想の特徴と、それらが思想史や各時代の社会変革に果たした役割を的確につかめているか、また現代諸思想とのつながりを押さえられているか	テスト 発表 レポート ノート
3学期	現代の課題	１．生命 ２．家族 ３．地域社会 ４．情報社会 ５．文化と宗教 ６．環境 ７．国際平和と人類の福祉	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:生命・環境・戦争など自分たちの今と未来に関わる諸問題を、自分の課題として受け止める意欲と関心を持てるか b:諸課題を自分たちの視点でどうとらえ、何をなすべきかを具体的に訴えられるか c:最新のデータをもとに考え、日本・世界の視点からその解決策を自分なりに考察していく d:表やグラフ、その他様々なデータをもとに最新の課題についてその原因や取り組み、その現状などを掴んでおく	発表 レポート ノート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。